



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-07

1 月号

発行 2026 年 1 月 19 日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)

会 計 吉田 公代

主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』

スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』

書 記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: 田上 正 (熊本むさしクラブ)

主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』

スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”

スローガン Change !

1 月の聖句

ルカによる福音書 5 章 37 節～38 節

誰も、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたり「しない。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は革袋を破って流れ出し、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は新しい革袋に入れなければならない。

And, no one puts new wine into old wineskins; or else the new wine will burst the wineskins and spilled, and the wineskins will be ruined. But new wine must be put into new wineskins, and both are preserved

(Luke 5:37 - 38)

(12 月 20 日)

出席者11名 うち、クラブメンバー出席率 80%

2026(令和 8)年の年頭に当たって

会長 利根川太郎

皆様、明けましておめでとうございます。ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新年は伊豆の湯河原で迎えました。31 日に出て 1 泊でしたが、道は全般に空いていて天候にも恵まれ快適なドライブでした。真っ白く雪化粧した富士山に向かって今年が良い年になるようにと祈念をいたしました。

2026 年は丙午(ひのえ・うま)です。「午(うま)」は、十二支の 7 番目に位置し、馬というエネルギーで自由な

動物を象徴しています。

馬は古くから人間の生活に密接に関わり、「速さ」「情熱」「自由」を象徴する存在として敬われてきました。午年は、エネルギーで前進する力に満ちた年とされます。また、馬は人間に慣れやすく、共に働く動物として親しまれています。そのため、午は人間関係や社交性を象徴する存在とも言えます。

川越ワイズメンズクラブは、埼玉 YMCA 川越センターと日常の交流を重ねて参りました。今後もできる限り協力して、地域の子どもの活動を支援して参ります。

川越ワイズメンズクラブは 2025 年 6 月にインド・ハイデラバードクラブとの IBC 締結をしました。このご縁がきっかけとなり、東日本区では若者を対象にして「インド体験・交流プログラム 2026」を 2 月 19 日(木)～3 月 3 日(火)に実施する予定です。

川越ワイズメンズクラブがチャーター当初から取り組んできました「チャリティ川越イモ」は、残念ながら受注先の農園の確保ができなくなり、来年度の実施が困難な状況です。今後は、チャーターメンバーの工藤さんの遺志を繋げるよう、受注先のお芋農家を開拓して参りたいと考えています。何か情報がありましたら、お知らせいただくと幸いです。

2026 年 1 月には、西日本区六甲部の芦屋ワイズメンズクラブから、五十嵐政二さんをメンバーに迎え、奥様のかほりさんもメネットとして参加していただきます。

2026 年の川越クラブの活動は、新しい仲間を加えて新しいチャレンジに向かって前進する年にしたいと考えています。

川越ワイズメンズクラブの活動に皆様のご尽力ご協力をお願いしまして、年頭のご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。

川越クラブ 12 月例会報告

日時:2025 年12 月 20 日(土)14:00~16:00

会場:川越 YMCA

山本剛史郎

川越ワイズメンズクラブでは毎年恒例の埼玉 YMCA 川越センターのクローバークラスの生徒、その卒業生と合同のクリスマス会を行いました。参加者は敬称略で川越ワイズから 8 名、子どもたちが 9 名、他に五十嵐ご夫妻、ボビーさん、YMCA 職員と総勢 20 名以上の参加者があり、1 階の部屋では少々手狭な感じがするほど集まりました。

最初に簡単に自己紹介から始まり、クリスマス・キャロルをうたい、簡単な食事会を行いました。14 時からの例会ということでお菓子を中心に、ドーナッツ、ジュースなどを用意して、賑やかなお菓子パーティーでした。

お菓子パーティーの次はお楽しみのプレゼント交換となりましたが、これも毎年恒例でビンゴ大会を行い、ビンゴになった人から順番にプレゼントを選ぶことができるという形で行いました。ただし、プレゼントの中身は袋などに入っているため、必ずしもビンゴで 1 番になった人が豪華なプレゼントをもらえるというわけではありません。ただ、中身は分からないまま最初を選ぶことができるという権利をもらえるというものでした。毎年、このビンゴ大会は盛り上がるのですが、今回は人数も多いこともあって例年以上に盛り上がったと思います。早々にビンゴになる人、全くといって良いほどビンゴカードに穴を開けられない人など様々で、番号が発表されるたびに喜びの声とため息が聞こえてきました。

最後に参加してくれた子どもたちからお礼の言葉をもらい、クリスマス会をお開きにしましたが、2025 年 2 月例会から約 1 年間、川越クラブのゲストとして参加してくれた五十嵐政二さんが芦屋クラブから川越クラブへ正式に転会してくれることの報告がありました。詳しいプロフィールは後日、五十嵐さん自身から書いていただきたいと思います。が、クリスマス会の中で、自己紹介をした時、御年 97 歳ということで子どもたちが驚いていたのがとても印象的でした。



川越クラブ 12 月例会の事務報告他

利根川太郎

新年を迎えてあつという間に仕事始めとなり、この 5 日に例会報告を書いています。昨年よりは遅いということですが、2 日には関東地方でも例年より早く初雪が舞いました。さいたま市では積雪もあったようで、姪の子どもたちは大喜びでした。

12 月の例会は、埼玉YMCA川越センターに通う子どもたちや卒業生の皆さんとともにクリスマスをお祝いしました。その様子は山本剛史郎さんの報告に譲り、ここではクリスマス会の後に行われた打合せについて報告します。

では、12 月例会の報告をいたします。

1. 3 月 7 日(土)開催予定の「アースディ・イン・川越」に出展申込みをしました。出展者会議も予定され、本格的に準備が始まります。
2. 4 月 12 日(日)開催予定の「こえどブルーマルシェ」出展の申込みをしました。
3. 次期国際会長選挙、次期国際会計選挙の投票先を決定しました。
 - ・川越クラブは、次期国際会長として HAMILTON,Sandora さん、
 - 次期国際会計として NIELSEN,Svend Erik さんに投票しました。
4. 川越クラブの次期役員を決定しました。
 - ・次期クラブ会長:利根川太郎 次期副会長:松川厚子、生川美樹
 - 次期書記:吉野勝三郎 次期会計:吉田公代よろしくお願いします。
5. 五十嵐政二様が芦屋クラブから川越クラブに転入され、かほる様がメネットとして参加いただけることが決まりました。これから手続きを進めて参ります。
6. 3 月 28 日(土)に川越クラブと川越YMCAの子どもたちでバス旅行を計画しています。群馬サファリパークとこんにゃくパークを訪れる案で決まりました。これから募集を開始する予定です。
7. 残念なお知らせです。川越クラブチャーター当初に工藤さんが始められ、山崎さんが担当して続けてきたチャリティ「川越イモ」が、請負先の農園から来年度は受けられない旨を通告されました。他の農園等で継続できないか模索中ですが、今のところ請け負っていただける農

園が見つかりません。今後も受注していただける農園を探して参りますが、皆さんからも心当たりをご紹介いただくと幸いです

次回例会は、1月24日(土)14:00～16:00 川越YMCAにて、生川美樹さんのスリランカ訪問報告会を予定しています。

在京ワイズ合同新年会報告

吉野 勝三郎

1月10日(土)午後、東京YMCA東陽町センターで開催された、「在京ワイズ合同新年会」に出席しました。

YMCA 学園の生徒さんによるトーンチャイムの演奏で始まりました。その温かい音色は、寒い冬の日の冷えた体を、心地よく温めてくれました。

6つの班に分かれてのワイズとYMCAとの関係についての話し合い。食事をしながらの歓談。多くのアピーなど、盛りだくさんのプログラムで、終了時間を大幅に超えての集会となりました。川越クラブからは、利根川夫妻・山本剛史郎さん・私の4名が出席しました。山本さんは、自分のYMCA・ワイズとの出会いから始まって、インド体験ツアーについて、情熱的にアピールされたのが印象的でした。渡邊大輔実行委員長からは、98名という大勢の参加者を得たことへの感謝のことばがありました。



国際の舞台から

利根川恵子

iGO (アイゴー:「世界に手を伸ばすためのインターン制度」)



申請時に18歳から29歳の青年に、成長を目的として、YMCAとワイズメンズクラブが協働して、国際的なインターン(職業体験)の場を提供するプログラムです。以前はYEEP (Youth Educational Exchange Program)というワイズメンズクラブ会員の高校生の子弟が海外に派遣されるプログラムがありましたが、それが2020-2021年度に廃止され、後継事業となったのが、iGOです。

開始以来、今まで実施されたiGO事業では、青年が海外のYMCAに派遣され、受入YMCAの事業の実施・運営にかかわることによって、職業体験となっています。ここで重要なのは、単に技術や知識の伝達ではなく、iGOの職業体験によって、青年がグローバルなコミュニティの一員としての自覚や国際的な連帯を、身を以て体得することです。

川越クラブも、2022年に当時はSTEP事業でしたが、デンマークのEsben Enevald Lundsgaardさんをホストしました。Esbenさんは、日本の木造建築、特に寺社の伝統的な建築技法に強い興味を示して、日本での滞在が、彼のその後のキャリアに大きく影響を与えました。



川越クラブでホストしたiGOの参加者・エスベンさん。

また、YMIワールド2026年1月号に、去る12月にインドでiGOインターンを経験したメアリー・シミュさんの感想が掲載されています。その一部を引用いたします。

「インド YMCA 全国協議会での活動を通して、YMCAが多様な地域奉仕活動によって、いかにして人々の生活に寄り添い、社会に貢献しているかを深く理解することができました。ユース、女性、そして地域社会へのエンパワーメント・プログラムの提供から、ワイズメンでの1年間の奉仕活動の記念まで、キャリアの成長に必要な共感力、回復力、そして戦略的な思考力を養うことができました。」

このように、若い人々に国際的な体験を提供できるのもワイズメンズクラブの大きな社会貢献であり、さらに多くの青年を含む有意義な事業を実施したいものです。

リレー随想

正月の思い出

吉田公代

新年になって、早いものでもう中盤です。年齢を重ねると時がたつのが早いと思います。

お正月はどのようにお過ごしでしたでしょうか。私の幼少期、父が存命の時は夕食後、家族で花札をして過ごすのが正月の行事でした。父の膝の上で兄や姉から掛け金を受取るのが私の役目でした。父は子供たちのお年玉を取り返していたのかも知れません。その翌日は喜多院に初詣とだるまを買いに行き、恒例の値切って買うことが上手でした。その光景はまさしく商人でした。なかなかユニークな父でした。

私が社会人となり、在職の時、自分で購入した着物を着て、初出勤をしました。その当時、沢山の取引先の方が新年の挨拶に来ていました。私の着物姿を見て、あまりの美しさに、着物ですよ、驚いていました。その中の取引先の社長が良いものを見せてもらいましたとお年玉を内緒でくださいました。

そんなことを思い出します。厳しい会社でしたが、一人前の社会人に育てて頂きました。ありがたいことです。今思えば、長い間楽しく過ごせました。

そんなことを思い出しながら、今年は健康第一でゆったりと過ごしたいと願いました。

以上

(次月は、山崎純子さんをお願いします。編集子)

YMCA 報告

河合 今日子

【新しい職員の紹介】

1月から職員になりました諸見里信子(もろみざとのぶこ)です。特技は、母から教わったカチャーシー(沖縄手踊り)を踊ることです。沖縄から川越に越して21年になり、すっかり川越市民です。

みなさんと一緒に色々なことにチャレンジしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



【Big Smile スキーキャンプ&みんな集まれ雪遊びキャンプ開催】

1月10日(土)～11日(月)、新潟県南魚沼市にてキャンプを実施しました。

このキャンプは、日本YMCA同盟のCCP(Challenged Children Program)の助成金を受けて実施しました。

参加者は、スタッフ・リーダー9名と放課後等デイサービスとアップ(クローバー卒業生グループ)に在籍する小学生から成人までの14名と、所沢のEnglish Camp参加者14名、合わせて37名での合同キャンプとなりました。

開催前日には「今季最強寒波の恐れ」との報道もあり、出発前は保護者の皆さんも少し心配されていましたが、当日は天候にも恵まれ、怪我や事故もなく、予定していたプログラムをすべて行うことができました。

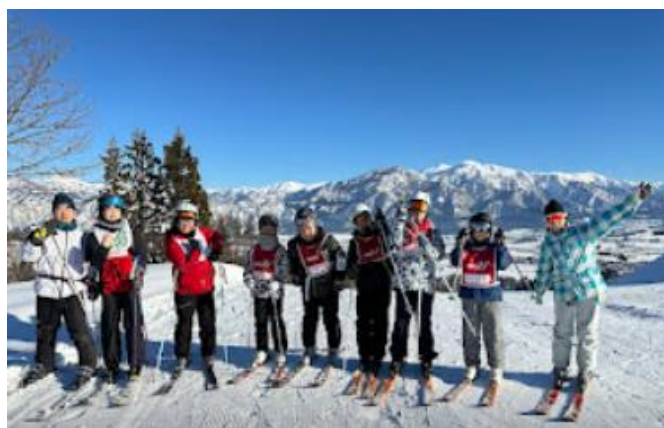
スキーや雪遊びなどの自然体験はもちろん、YMCAのキャンプでは、リーダーと過ごすグループタイムや夜のタレントショーを楽しみにしている子どもたちも多くいます。グループタイムでは、ボードゲームをしたり、お絵描きをしたり、枕投げをしたりと、何をするかを仲間同士で話し合っていて決めています。うまく話し合えない場面もありますが、子どもたちのことをよく理解しているリーダーが寄り添いながら関わることで、安心して自分の気持ちを出せる時間になっています。こうした日々の活動が続けられているのも、支援してくださる皆さまのおかげです。

また、夜のタレントショーでは、発表したい人が自分の得意なことや好きなことを披露しました。どの発表にも自然と拍手が起こり、お互いを認め合う、あたたかな時間となりました。

たった2日間のキャンプでしたが、集合したときには少し緊張していた子どもたちが、解散するときには笑顔で帰っていく姿を見ると、「やってよかったな」と感じます。

参加者や保護者からは、「初心者向けのスキーキャンプもあったらいい」「2泊のキャンプにも参加してみたい」といった声も届いています。これからも、ワイズメンズクラブの皆さまをはじめ、多くの方に支えられながら、子どもたちの成長につながるキャンプを続けていきたいと思います。





編集後記

Shin-nen akemashite omedeto-gozaimasu!

これは、新年早々にインドと電話会議を行った時に、インド人が分かり易い発音で言ってくれて嬉しかったです。話し言葉の力を感しました。

改めて、私から“**新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。**”の挨拶を送ります。

個人的な理由で、編集のスタートが遅くなり、発行が遅くなりましたことをお詫びいたします。また、New Year Resolution を考える間もなく、今年も20日間も経ってしまいました。

その間、1月17日(土)には、埼玉クラブ浅羽会長の呼びかけで、埼玉3クラブの有志が所沢に集まって、YMCAの職員との懇談会が和やかに持たれました。この会の内容は次号の「希望の鐘」で報告いたします。

なかなか明るいニュースが聞こえてこない2026年の始まりですが、川越クラブは、今年はメンバーが増える聞いています。嬉しいことです。もう少しで1歳年齢を重ねる自分としては、私たちワイズのメンバーは、YMCAとの関係で生涯に亘って関係を持ち続けることができる幸いを感じています。健康に注意して頑張ります。Kotoshimo yorosiku onegai-itashimasu!

ます。そのことを
(KY)